

令和5年度第1回佐伯市食育推進会議 会議の抄録

1 開催日時

令和6年3月18日（月）14時00分から15時30分まで

2 開催場所

佐伯市中村南町1番1号  
佐伯市役所 6階 第二委員会室

3 出席者等

出席委員17名、欠席委員4名（全委員数21名）

河野 辰也 委員長、染矢 弘子 副委員長  
相川 良恵、浅利 歩美、梅田 一弘、坂本 晃彦、三浦 真実、清家 フミヨ、  
渡邊 正太郎、戸高 竜介、渡辺 英征、増野 荘平、大友 勝彦、酒井 智江、  
梶川 里沙、福泉 真琴、小谷 晃文

観光ブランド推進部 部長 古田 智  
事務局  
ブランド推進課 課長 戸高 真一、総括主幹 尾形 繁子、副主幹 高次 秀爾

傍聴者 0人

---

1 開会 開会あいさつ（部長）

2 議事の主な内容

事務局から、令和5年度事業実績及び令和6年度事業予定について説明。

【委員から出された主な意見】

- ・食育推進会議として、何か事業等ができるとうい。
- ・例えば、みそづくり等を全小学校で実施できるとよい。学校で行う場合に予算がないこともあり、良い方法がないか。
- ・おおいた食育人材バンクや食育サポーターを活用してほしい。
- ・全校実施が難しい場合は、モデル校として実施してはどうか。
- ・オーガニックフェスタの開催内容について、出店方法等も含め、より良い機会となる

ように再考してほしい。

- ・食育とは何か深く考えなければならない。給食も価格だけでなく、子どもが給食を楽しみに学校に行くようなものにしてほしい。次世代を担う子どもを育てるため、価格面も大変だが地産地消やオーガニック等を含め、よりよい給食を目指してほしい。
- ・有機米を学校給食で使用しているが、子どもの反応はどうだろうか。地元の産品を使った献立等もあり工夫して給食を作っているが、啓発もより実施できると良い。
- ・生産者と消費者や学校等をつなげる機会を増やしていきたい。
- ・食育やオーガニック推進は、ターゲットを絞って啓発することも必要。一方で食育は意識の高い人だけでなくボトムアップを行わなければならない。また、オーガニックと言っても分かりにくい面がある。
- ・農産物等に対する有機やオーガニックの概念は、基準が曖昧過ぎては良くない。いい加減な解釈では誤解を招く懸念もある。
- ・市が事業を実施するにあたり、関係部署や関係機関、教育委員会等との連携を強化してほしい。

### 3 閉会